

科目名	観光振興論	科目コード	1471	単位数	3
担当者名	山田 勅之	開講セメスター	第4セメスター	開講年次	2年次
授業の方法	講義	到達目標	C.D	実務経験	有 旅行代理店
ナンバリング	ITp402	DP（ディプロマポリシー）と到達目標の関連性については、カリキュラムマップ参照			

● 授業のねらい

経済振興の一方策として観光がますます重要視されています。とりわけ国際観光は新たな成長分野として、様々な施策が行なわれています。本講義ではインバウンドとアウトバウンドを対象として、具体的な事例を取り上げながら、現状と課題、問題点を検討していきます。それらを通じて、国際観光の分野において、グローバルな活動を担う人材を目指します。

● 到達目標

インバウンドとアウトバウンドそれぞれに対する振興策が、どこへ、どのように影響を及ぼしているのかを理解するとともに、そこから生じる問題を把握します。以上から、国際社会と地域社会に貢献できる能力を身につけることができます。

● 授業内容

- 1週目 ガイダンス：観光振興の概略
- 2週目 日本の国際観光の変遷とインバウンドの現状
- 3週目 観光インフラ
- 4週目 規制緩和：民泊がもたらすもの
- 5週目 中国訪日旅行 「爆買い」
- 6週目 中国訪日旅行 「爆買い」後
- 7週目 ハラルツアーリズム：イスラム教徒訪日観光
- 8週目 オーバーツーリズム
- 9週目 ユニバーサルツーリズム
- 10週目 アウトバウンド：海外旅行とメディア
- 11週目 航空市場の変遷
- 12週目 リゾート開発：ハワイ
- 13週目 海外ロングステイ
- 14週目 コロナ禍の観光振興
- 15週目 まとめ 小論文作成
- 16週目 振り返り・講評。但し、やむを得ず、15週目までの授業内容を実施できなかった場合は補講授業を行う。

● 準備学修（予習・復習）の具体的な内容及びそれに必要な時間

参考書や関連の文献に基づいて予習を行う（1時間程度）。
 毎授業配布するレジュメの復習をする（1時間程度）。

● 成績評価の方法・基準

授業時に実施する小レポート 50%
 小論文 50%

● 履修上の留意点

- ・本講義は原則対面授業です（第15週を除く）。LMS（学習管理システム）として、グーグルclassroomを使用します。履修登録完了後、全員グーグルclassroomへの参加手続きをしてください。
- ・連絡事項は大学から支給されたGmailアドレスへ送ります。
- ・遅刻や私語、飲食などの迷惑行為を慎むこと。改善されない場合は不合格となることがあります。出欠は授業の参加度の観点から管理します。毎回配布するレジュメはまとめの小論文作成に必要なため、保管しておくこと。
- ・新型コロナウイルス感染症の流行状況によっては、対面授業＋リアルタイムオンライン授業(Web会議ツール：Meet)の同時実施、あるいはリアルタイムオンラインのみ、オンデマンドなどへ移行することがあります。オンライン受講に備えて、IT環境（WIFI、プリンターなど）の整備をお願いします。

● 課題に対するフィードバックの方法

- ・小レポートや小論文は基準に基づいて3～5段階に評価して返却します。提出・返却はグーグルclassroom上で行います。
- ・期限内に小レポートを提出できない場合、欠席扱いとするので注意してください。

● テキスト

特になし。毎授業レジュメを配布する。

● 参考書

高井典子・赤堀浩一郎『訪日観光の教科書』（創成社）2310円
 山口誠『ニッポンの海外旅行 若者と観光メディアの50年史』（ちくま新書）858円

● 更新日付

2023/04/25 11:46